

わが国の国民医療費は、急速な高齢化や医療の高度化等により増加の一途を辿っています。高齢者医療費は全体の約6割を占め、これを支える現役世代の負担は際限無く増えている状況にあります。

健保連の推計では、すべての団塊の世代が後期高齢者となる2025年度には国民医療費は58兆円に増加し、支える側も生産年齢人口の減少により被保険者1人当たりの年間保険料は2017年度に比べ約17万円も増加します。すでに現役世代の負担は限界に達しており、このままでは支える側と支えられる側が共に倒れ、国民生活の安心の基盤である国民皆保険制度の崩壊が現実のものとなります。

「皆保険制度」の持続性を高め、国民の安心を確保するためには、消費税率引き上げ等による財源を確保し、現役世代に偏った負担の不均衡を是正する「高齢者医療費の負担構造改革」を断行しなければなりません。少なくとも現役世代の負担には一定の歯止めをかけるべきです。

同時に、高齢者の患者負担を2割とするなど、高齢者にも応分の負担を求めるとともに、「生涯現役」「高齢者の就労機会の増」等、社会保障という御興の担ぎ手を増やすことによって、公平な負担による「全世代型の社会保障制度」の実現を目指すことが必要です。もはや一刻の猶予もなく、国はこうした現状と皆保険制度の価値を十二分に認識し、改革に向けて早急に踏み出すべきです。

健康保険組合は、自主・自立の精神のもと、労使と一体となって、加入者の実態に沿ったきめ細かい健康保持・増進、疾病予防などの効果的・効率的な保健事業を展開してきました。これからも優れた保険者機能を発揮して、データヘルスや健康経営などに取り組み、従業員とその家族3,000万人の健康と安心を守るとともに、健康寿命の延伸にも貢献して健康な高齢者を増やし、支えられる側から支える側への転換を図ること等、持続性ある制度の確立に向けて取り組み、皆保険制度を守り抜く決意です。

ここに我々健康保険組合の決意と覚悟を示し、次の事項の実現を期し組織の総意をもって決議しました。

大会スローガン

拠出金負担に50%の上限、現役世代の負担に歯止めを

日本は世界に類を見ないスピードで少子高齢化が進み、年々増加する高齢者医療費に対し、それを支える現役世代は減少の一途を辿っている。健保組合の高齢者医療費への拠出金負担はもはや限界を超え、過重な負担に止むなく解散を選択せざるを得ない健保組合が後を絶たず、一刻の猶予もない。支え手である現役世代の負担に歯止めをかけるために、少なくとも拠出金負担に50%の上限を設け、上限を超える分は国庫で負担すべきである。

高齢者の2割負担など負担構造改革の早期実現

増え続ける高齢者医療費を国民全体でどのように支えていけるかが、皆保険制度を維持するための最優先課題である。現役世代に偏った負担を是正するため、74歳まで2割負担となっている高齢者の患者負担を75歳以降も引き続き2割とする等、高齢者にも応分の負担を求める改革を避けてはならない。さらに、来年10月に予定されている消費税率引き上げ等によって必要な財源を確保したうえで、高齢者医療費の負担構造改革を断行し、「全世代型の社会保障制度」の実現を目指すべきである。

実効ある医療費適正化対策の確実な実施

増加の一途を辿る医療費の抑制なくして安定した制度の持続性は確保できない。病床機能の分化・連携、医療の地域間格差の是正、薬剤費の適正化、医療・介護の連携による給付の適正化、保険給付範囲の見直し、療養費の不正対策などに着実に取り組むとともに、既存のメニューにとどまらず、あらゆる施策を通じて医療費の適正化・効率化を着実に実施すべきである。

保健事業の推進による健康寿命延伸と社会保障の支え手の確保を

わが国は超高齢化と人口の急減という多難な時代を迎えるなか、社会保障制度の持続可能性の確保という課題に直面している。その中で健保組合は、加入者の実態に沿ったきめ細やかな保健事業を効果的・効率的に展開してきた。これからは、事業主と一体となって加入者の健康を守り抜き、さらに健康寿命の延伸にも貢献して、健康な高齢者が元気に働き続け、支えられる側から支える側へ回す「社会保障という御興の担ぎ手」を増やすことにも積極的に取り組んでいく。こうした、健康を創るという点で最も効果的に保険者機能を発揮できる健保組合方式を将来にわたって維持・発展させるべきである。



平成30年度

健康保険組合全国大会が 開催されました

全国1,400余りの健康保険組合の役員が一堂に会した「平成30年度 健康保険組合全国大会」が、去る10月23日(火)に東京国際フォーラムにおいて開催されました。「STOP 現役世代の負担増！改革の先送りは許さない」をテーマに掲げたこの大会には約4,000人が集結し、将来にわたり国民が安心でき、公平性、納得性の高い皆保険制度の実現に向けた抜本的改革の断行を求め、思いを一つにしました。

